

(別紙)

原告書籍目録

(一) 表題

著者

小

林

よしのり

発行者

井

上

功夫

発行所

株

式

会

社

双

葉

社

発行

一九九七年一月一四日第一刷発行

(二) 表題

著者

小

林

よしのり

発行者

井

上

功夫

発行所

株

式

会

社

双

葉

社

発行

一九九七年一月一四日第一刷発行

(三)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 3	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 七 年 一 月 一 四 日 第 一 刷 発 行

(四)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 4	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 七 年 一 月 一 四 日 第 一 刷 発 行

(五)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 5	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 七 年 七 月 二 五 日 第 一 刷 発 行

(六)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 6	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 七 年 七 月 二 五 日 第 一 刷 発 行

(七)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 7	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 七 年 七 月 二 五 日 第 一 刷 発 行

(八)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 8	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 七 年 七 月 二 五 日 第 一 刷 発 行

(九)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 9	小 林 よ し の り	井 上 功 夫	株 式 会 社 双 葉 社	一 九 九 六 年 三 月 一 八 日 第 一 刷 発 行

(五)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
新・ゴ ー マ ニ ズ ム 宣 言 ①	小 林 よ し の り	遠 藤 邦 正	株 式 会 社 小 学 館	一 九 九 六 年 八 月 二 〇 日 初 版 第 一 刷 発 行

(二)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
新・ゴーマニズム宣言②	小林 よしのり	遠藤 邦正	株式会社 小学館	一九九七年三月一日初版第一刷発行

(三)

表 題	著 者	発 行 者	発 行 所	発 行
新・ゴーマニズム宣言③	小林 よしのり	岡成 憲道	株式会社 小学館	一九九七年五月二〇日初版第一刷発行

(三)

表 題

新・ゴーマニズム宣言 ④

著 者

小林 よしのり

発行者

岡 成 憲 道

発行所

株式会社 小学館

発 行

一九九八年一月一日初版第一刷発行

※ 新・ゴーマニズム宣言第三七〜四九章の初出は「SAPIO」(小学館)

九七年三月一二日号〜八月二七日・九月三日号

(四)

表 題

新・ゴーマニズム宣言スペシャル脱正義論

著 者

小林 よしのり

発行者

見 城 徹

発行所
発行

株式会社
一九九六年九月五日初版第一刷発行

(別紙)

被告書籍目録

表題	脱ゴーマニズム宣言
著者	小林よしのりの「慰安婦」問題
著者	上杉 聡
発行者	今東 成人
発行所	東方出版株式会社
発行	平成九年一月一日初版第一刷発行

1 ひん死の「ゴーマニズム宣言」

小林よしのり氏(愛称・よしりん)の「新ゴーマニズム宣言」が『SAPIO』誌上に連載されている。『SPA!』誌に掲載されてきた「ゴーマニズム宣言」以来、様々な社会問題や思想問題を漫画で取り上げ、幅広い層から注目を集めてきた。

私は、よしりんの漫画が大好きだ。そのサービスピ精神たるや、画面の一回一回に盛り込まれた情報量の多さ、読者を楽しませようとする様々な工夫、ギャグの面白さ、さらにゾクツとさせる美しい線。私は感服し、敬愛し、最後は「よしりん大チキ心」と、つい口走ってしまいそうになる。

新・旧「ゴーマニズム宣言」の各章の最後には、

次のように読者に問いかけるコマがあり、直後にキメの言葉が描かれる。これをよしりんのゴーマニズムのあらわれとみて嫌う人もいるが、どんな思想にも結論があり、いつの場合も結論はゴーマンなものとは私は考えるので、さして気にもならない。

ゴーマンがまして
よかですか?



とくに「新ゴーマニズム宣言」になってからは、登場人物の描写力が飛躍的に上昇、一目でこれは誰、あれは誰と分かってしまう。一方で「新しい歴史教科書をつくる会」の呼びかけ人となって社



「新ゴーマンニズム宣言第35章」より

う。第一、宣伝や広告が無くなったら満員電車だ
ってさらに苦痛になる。だが漫画が宣伝物となる
ということは、文化が独立性を失い、特定の意図
の手段や道具になるということだ。それは漫画と
しての死を意味する。「ゴーマンニズム宣言」は、
今、ひん死の状態にある。

ゴーマンかまして
かめへんやろか?

このままと「ゴーマンニズム宣言」は、「作・某
政治家、絵・小林よしのり」の宣伝ビラになりま
っせ。よしりん! あんさんは今、大切な自分を
失のうてるのちがうか? もいちど漫画家とし
ての原点に戻りなはれ!

2 凶器を手にしたよしりん

「ゴーマニズム宣言」(以下「ゴー宣」と略すことも)が切り開いた世界は、「論理」を漫画で補ったところにある。これまで、漫画において絵が補うものといえば「物語」だった。読者は、絵によって、活字からイメージを膨らませる苦労を省略できる。「ゴー宣」の魅力は、無表情になりがちな活字による論理の世界に、絵という表情を盛り込んだこととであり、人々の論理への接近を楽しいものとした。

だが、そのことは逆に、読者は活字から論理的イメージを生み出す努力を彼に預け、よしりんが作り上げたイメージに汚染される危険を背負い込んでしまうことにもなる。

よしりんは、この点をよく承知しているし、なんとその上で、あえて彼の作り上げたイメージを読者にすり込むことを始めた。その意図的な始まりは、「ゴーマニズム宣言」第百五十九章で、薬害



「ゴーマニズム宣言第百五十九章」より

エイズ問題の安倍英・帝京大学副学長(当時)を、「名誉毀損覚悟で：薬害魔王」(「新ゴーマニズム宣言スペシャル・脱正義論」一八頁)に仕立てる絵を描き始めたことだ。それだけの描写力がこの頃には十分備わっていた。そしてその技術は凶器となった。

その後、安倍氏のこの顔は繰り返し繰り返し使われ、回を重ねるごとに小林氏の描写力が増すことで、いつそう鮮烈なイメージとなって読者の脳裏に焼き付けられていった。私なども、後にテレビに出演した彼の顔を見て、よしりんの漫画のイメージとだぶって仕方がなかった。私は、よしりにイメージをすり込まれてしまっていたのだ。

私は安部氏が薬害エイズ問題に重大な責任を負っていると思う。だが、彼自身の内面に則した把握を私なりにしなければならないと、今は思うようになった。安易なイメージだけでは、かえって真実から遠くなるように思うからである。



「新ゴーマニズム宣言スペシャル・脱正義論」78頁より

もちろん私は、よしりんがなんらかのイメージを自分自身の内に抱き、描写すること自体を否定しているわけではない。そんなことをしたら漫画そのものが成り立たないし、公的場にいる安倍氏のような者が表現の対象となることは許されるべきだ。しかし、私的な一個人を描く場合には、おのずと限度というものがある。そこには肖像権の侵害、名誉毀損の問題が発生する。ましてや、マインス・イメージを繰り返し返す場合は暴力になる。HIV訴訟の原告である川田龍平君の顔を醜く

3 「よしりんへんしーん！」の謎

いったい何があつたのか？ よしりん！

「いつの日かこの世を弱者の樂園にするまでわしは闘い続けてやる！」と叫んだよしりん、毒は持っていても心優しいよしりんはどこへ行つてし



「ゴーマニズム宣言第十三章」より

まったのか？ なぜそこまで変心してしまったのか？ 多くの読者が嘆く。

いま彼は「弱者権力」なる造語まで生み出し、弱者をつぶすことを何とも思っていないように見える。「子供の黒人障害従軍慰安婦」という「地上最強」の弱者軍隊をギャグで登場させ、「人権帝国」と批判する(「新ゴーマニズム宣言」第38章)。

もし「弱者権力」と「強者権力」なるものが本当にあつて、たがいに戦うのなら、どちらも権力である点は同じなのだから、はなっから「強者権力」の方が強いに決まっている。もともと負けるが決まっている弱者が、権力などであるはずがない。そもそも権力のないものを弱者と呼ぶのだ。

部落差別をはじめとする人権問題に敏感だったよしりんがこうのように変節したきっかけは、直接には、薬害エイズ問題がある。それまで、被害者への情でこの問題にかかわってきた彼は、自分の漫画で育ち、自分を慕って運動に参加していると

ばかり思っていた学生たちと対立し、彼らが離反し、彼から自立していくことに耐えられなかった。「わしはこの薬害エイズ問題で決定的に『運動』が嫌いになった!」と、一人叫ぶシーンが印象的だ。



「新ゴーマニズム宣言第25章」より

たしかに、それまでの彼の運動論には見るべきものがあつた。「個の連帯」を追求した彼の考えを私は今も強く支持しつづけている。日本社会が歴史のなかで生み出してきた集団主義は、知らず知らずのうちに、あらゆる運動をも汚染していて、排他的組織が今もはびこっている。組織というものは、力あるものに立ち向かうときは力となるが、もしそれが組織など持たない個人に対するときには「権力」になる。その組織の真ん中には、指導者やイデオロギー、さ

二一頁

カット7

(二カット)

で、権威など嫌いだ。みんなどこかで「俺が一番」
と思っている節がある。

そんな世界で「カリスマ」である自分を維持する
ことによりりんは疲れたのだ。彼への批判者となり
合うためには、やはりもともと知識が不足している
と痛感していた。西部氏の「あんたはこの問題(薬害エイズ問題)から手を引きなさい」「ぼく
が学生たちを引き受けてもいいから」という申し
出を受け容れる。こうして、思想の分野は西部を
中心とする保守系文化人から借りてくることにし、



「新ゴーマニズム宣言スペシャル・
脱正義論」より

自分はそのもとで、あらゆる文化人を一応批判で
きる道化役の漫画家であることに落ち着いたので
ある。

——
ゴーマンがまして
かめへんやろか？

よしりん！ 休みなはれ！ いったん休息しな
はれ！ あんさんはプロの漫画家、いや思想を論
じれる漫画家として頑張ってきて、疲れたんや。
疲れを癒して、もいちど元気な姿で帰ってきなは
れ！

一 水会の代表・鈴木邦男氏である。



「ゴーマニズム宣言第六十八章」より

「権威は死んだ！俺たちが殺した！」（小林・浅羽「知のハルマゲドン」徳間書店）と言ってきたよしりんが、死んだ権威の代わりに自分が「どーのカリスマ」になることを宣言したのが「ゴー宣」第八十二章だった。以後、彼は「ゴー宣」上で言論人と論争・葛藤する中で、なおかつ「カリスマ」を維持するため、疲労でボロボロになってゆき、ついに西部氏の膝元に安息の地を得ることになる。よしりんは、この「カリスマ宣言」をした頃から、それまでにない攻撃的な傾向をマンガで表すようになった。佐川一政氏へのマイナス・イメージのすり込みや、フェミニズムに対する批判もこの頃からのことだ。

「ゴー宣」第百十三章になるとよしりんは、「教育だな、やっぱり！」「最近、教科書にしたい漫画、というアンケートで、この「ゴー宣」を上げるものが多くなってきたらしい」とほくそ笑んで、次のような宣伝で章を終えている。



「ゴーマニズム宣言第百十三章」より

ゴーマンがまして
かめへんやろか？

教科書に載りたい！ 漫画家としての名誉を得たい！ という気持ち…批判できる人はどこにもおれへん。せやけど、政治家に取り入ってそれをやったとしたら、「生き方までマンガやった」と後世までささやかれまっせ！

5 「強制連行あった」「なかった」は、順序が逆!!

よしりんが「慰安婦」問題を初めて取り上げた「新ゴニム」第24章のメインは、よしりんが元「慰安婦」のインタビューをテレビで観るところから始まる。

以後よしりんは、手を変え品を変え、元「慰安婦」の証言に疑問を投げ続けることになる。もし、名乗り出た被害者の証言を「信じるのができない」のなら、そのまま放っておいても良かった。「漫画にするのはわしの勝手」と、よしりんは言うかもしれない。だが、はたしてそうか？
殺人事件でない限り、ほとんどの犯罪捜査は、「私は〇〇から被害を受けました」という被害届から始まる。これを「慰安婦」問題に則して言え



るのですが、そういうときは見回りの人しかおらず来る人が少なかつただけです。攻撃が終わって一旦戻ってくると、たくさん慰安所に来たのです。(中略)いまでもその夢を見ることがあります。私が死んでいのちが消えてしまうまで続くでしょう。死んだときにやっと自由になるのかもしれない。しかし何をやっても、その悪夢を忘れることはないでしょう。

このように金さんは、吉田氏の本をネタにして「強制連行されたとき、木剣で殴られた傷が今も痛む」とか、「首に縄を付けて連行された時の擦り

わしが問題にしているのは
慰安婦の強制連行である
日本軍がら致してレイプした
のか?である



「新ゴーマニズム宣言第29章」より

傷が痛い」などと被害を訴えているのではない。

なによりりんは、「官憲による強制連行があつたかどうかだけが問題だ」という。「それ以外は調べない」というのなら、これは、ニセの被害届を出せと言っているに等しい。そんな被害届をもとに捜査など進展するはずがない。

捜査のプロなら、被害者の調書をもとに、それが事実かどうかを確かめようとする。よしりんのやっていることは、その仕事をほったらかしにしておいて、加害者側である吉田氏の調書をもとに調べて「事件はなかった」とやる。よしりんの教師役となった秦郁彦氏などは、わざわざ済州島までかけて吉田証言の真偽だけは確かめる(他は調べもしない)。

吉見義明・中央大学教授は、金学順さんの告発を知って、以前見たことのある資料がこの事件に関係するかも知れないと思って、防衛庁の資料を読み直した。あの有名な日本軍関与の資料はこう

して発見された。これが捜査の手順なのだ。
捜査のプロなら、被害者の訴えをまず受け止め、それが犯罪として立件できるかどうかを確かめる。よしりんや秦氏は、そもそも、訴えを受け止めることから逃げているのだ。



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

とも描くが、被害者の訴えを聞いた警察官がす

ぐ加害者側に「あんたやったの？」と尋ねにいつて、「やってない」と答えられたら「これでお互い相殺だ」と、上のように言うのかい？ 被害者に立証責任などないのだ。その責任は警察・検察にある。つまり、私たち日本社会にあるのだ。

ゴーマンかまして
かめへんやるか？

よしりん！ わてら日本人に必要なんは、被害者の訴えに、まず耳を傾けることや。真実がどこにあるかは、それからわてらが問われることやおまへんか？ 一番肝心のことから逃げたらあきまへん！

(別紙)

採録状況 (三)

三一頁

カット13

(上段一カット)

カット14

(下段一カット)

「朝まで生テレビ」直後のよしりんの顔だが、きれいに描かれすぎている。本当は目の下にクマができていて、写真のような顔をしている。少しタレ目でもある。ただ、よしりんが自分の顔を、上のように考えている、あるいはそのように見せたい思いがあることもまた事実なのだ。

以上は、一のケースに当たる。



「新ゴーマニズム宣言 第37章」より



「女性セブン」
97年4月10日号より転載



「新ゴーマニズム宣言第33章」より



「噂の真相」97年2月号より転載

次の漫画は、新しい歴史教科書をつくる会の記者会見のシーンだ。右から二人目と三人目の間にはマイクが置かれている。だが、そこには、下の写真で見ると、林真理子氏と深田祐介氏のネームプレートが置かれていて、二人(阿川佐和子氏を加えると三人)が欠席した格好の悪さを隠し、「つく

る会」がすごいのだと誇張している漫画であることがわかる。



「新ゴーマニズム宣言第37章」より

このコマには、欄外に虫眼鏡で見ないと分らないくらい小さく、「つくる会」の呼びかけ人会

解散したことを伝えている。林・阿川両氏が呼びかけ人から降りたいと強く要求し、しかし、やめられると格好悪いので、解散という形にしてその事実を隠そうとしたもので、これなどは二のケースの例だ。

ついでに、こんな誇張をしたり隠したりすることとで、よしりんがいかにも「つくる会」を大きく見せるように苦心しているか、プロパガンダ漫画家に、いかにヘンシンしてしまっているか、という事実もまたわかるのだぞーっ！ よしりん！

——
ゴーマンかまして
かめへんやろか？

被害者の証言を信じる、信じへん、なんちゅーちっこいことを言うようでは、ちっこい、ちっこい、ちーっこい。みんな包み込んで、なおかつゴーマンかませるようなよしりん、早う戻ってくれなはれや！

解明と、「だまし」をはじめとして、公娼制の中でつちかわれ、後に禁じられる、前借金で縛る方法や心理的圧迫を加えることなども強制連行であることを国際法などをもとに明らかにしていた。

この「広義の強制連行」という考えは、一九九二年十一月に吉見氏が『従軍慰安婦資料集』(大月書店)を出版したとき、すでに表明されている(三五頁)。もちろん吉田本などは、資料としてどこにも使っていない(ところが、「新ゴーマニズム宣言」第37章・第42章でよしりんは、吉見氏の研究が狭義の強制連行説を作ったとしている。これはデマだ)。

吉見氏の考えは、九三年の河野官房長官談話にも採用され、「その募集、移送、管理等も、甘言、強圧による等、総じて本人たちの意思に反して行われた」という政府見解にもなった。

よしりんは「広義の強制連行説」を、最近のことだとして、



と描いているが、すくなくともまともな研究者にとつては、「とつくの昔」の話なのだ。

「まともな研究者」と書いたのは、むしろこの頃から、逆に、吉田清治氏の本の問題点をツツき、「この本に書かれていることは嘘だ」と、全く逆の方向から吉田本を問題にする「まともでない研究者」が出てくるからだ。秦氏が済州島に行つて吉田氏の回想録を検討し、『産経新聞』に発表したのが一九九二年四月のことだ。これに追隨する「研

三七頁

カット17

(上段一カット)

カット18

(下段二カット)

8 「強制連行こだわり説」はオトリ

よしりんは、強制連行があったかどうか「だけ」が問題だ、として次のように描く。



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

だが、本当は自信がなくて、強制連行はあった、ただし、民間業者によるものだ、とする。



つまり、業者の強制連行はあっても、軍部がそれに関与したかどうかは別問題だし、その関与を



「新ゴーマニズム宣言第32巻」より

だ。にもかかわらず、現在一部分が残っていることを考えれば、やはり悪いことはできない。よしりんは、そのものズバリの資料がないから、次のように描く。



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

たしかに、もし、いつときに数万人の女性を強制連行しようとすれば、これは一大作戦行動だ。それなら文書にも残ろう。

だが、「数万人」というのは、慰安所が作られた一九三二年から敗戦までの十年以上での人数だ。その間、五人、十人と、少しずつ運ばれたのだ。

しかも、すべての被害者が暴力的に強制連行されたわけではない。名乗り出た被害者の約四分の一がそう訴えているにすぎない。名乗り出ている人は、亡くなった人を除けば比較的被害が深刻な人たちだと考えれば、実際の強制連行の被害者の割合は、もつと低くなるかも知れない。

ただ、こつけないのは、こうやって「慰安婦」問題を含めて、当時の証拠書類を焼いた政治家たち——この犯罪の張本人たち——に踊らされて、よしりんたちが「しよーこがない」「しよーこがない」と、性懲りもなく声高に叫び続けていることだ。オウム信者が、麻原を持ちあげて「しよーこー」「しよーこー」と歌っていたのと、よく似ている。今は政治家を持ちあげて「しよーこー」「しよーこー」とやっている。

9 よしりん暗殺未遂事件はでっちあげか？

ここでひとつ、よしりんの暗殺未遂事件を取り上げて、証言の受け止め方を解説してみよう。よしりんは、オウム信者からVXガスで殺されかけたことがある。これは新聞でも大きく報道された。よしりんは、「世界初の暗殺されかけた漫画家」と、自慢しつつ被害を訴えてきた。

この事件の特徴は、物的証拠や文書の証拠が何一つなく、すべて証言(自白を含めて)だけで構成されていることだ。加害者の調書もあって、これが大きく新聞報道されたわけだが、最終的に立件されず、不起訴となった。

にもかかわらず、よしりんは――



「ゴーマニズム宣言第五十八章」より

と言う。ところが、「慰安婦」問題についてだけは、証拠がなければ事実とは「なかった」としか思え

四四頁

カット21

(上段一カット)

カット22

(下段右一カット)

カット23

(下段中一カット)

カット24

(下段左一カット)

ない」と描く。



「新ゴーマニズム宣言第29章」より

ならば、よしりん暗殺未遂事件も「なかつたと思えない」と言っているのかい?

よしりんの漫画には、VXガスを注射器に入れて、よしりんを待ち構えるオウム信者がたびたび登場する。ところが、初期は、その先に注射針を付けているが、後期になるとゴムホースのような管を付けている。さらにホースの先が曲がついて



「ゴーマニズム外伝第4話」より



「ゴーマニズム外伝第4話」より 「ゴーマニズム宣言第百五十八章」より

(別紙)

採録状況(三)

四五頁

カット25

(上段一カット)

カット26

(下段一カット)

るのもある。

証言、ちがった、証漫がくるくる変わって信用



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

できない——と言っているのかい？ よしりん！
ところで、警察発表によると、よしりん暗殺指
令は「オウム自治省大臣」の新実智光が山形明と

いう元自衛官に命じたとなっているが、よしりん
は——



「ゴーマニズム外伝第4話」より

と、麻原彰晃が命じたように証漫されている。
よしりんは、「慰安婦」問題で、「業者による強
制連行はあったが、軍が行ったのではない」と描
くが、これを次の私が書き入れた手書き文字のよ
うにするとわかりやすい。



「新ゴーマニズム宣言第32章」より

「新実が殺人未遂を勝手にやったのであって、麻原は無罪なのだ」と言ってもいいのかい？ よっしりーん！

ついでに――

命令書

小林よしのりは、わしらオウム真理教の数々の犯罪を漫画で暴き立て、わしらに害を与えること甚だしい。よって、ここに右小林よしのりをポアすることを命じる。

○年○月○日

オウム真理教

グル 麻原彰晃 印

自治省大臣 新実智光 殿

という指令文書が発見されたら、私は「よしりん殺人未遂事件」を信じる、と言ってもいいのかい？
よよよっしりーん!!

ゴーマンかまして
かめへんやろか？

犯罪なんかかったやんけ！ と言っはじつに簡単。周囲の偏見の目に苦しみながら名乗り出た被害者に「シヨークは？ あれへんのん？ あんたがシヨークもってきなはれ！」なんちゆう薄情なこと言うよしりんやなかったはずやで。今はただナサケナイ！

10 女性も知らなかったゴークン所の中

さて、女性たちが慰安所にどのように暴力的に閉じこめられていたかを見てみよう。よしりんは、次のようなマンガを描いて、女性たちがまったく



「新ゴーマニズム宣言第26章」より

自由に働いていたかのように見せる。

これによく似た風景が、総山孝雄「南海のあけぼの」(叢文社)に書かれている。場所はシンガポール、一九四二年のことだ。

われわれの駐屯地のほど近いところに慰安所が開設された。軍隊は若い盛りの将兵をいっぱい抱えている。従って、作戦を終わって一地に落ちつくと、住民の女性とのトラブルの発生を防ぐために、一刻も早く慰安所を開設して生理発散の場を与えようとするのが軍の習わしである。軍司令部の後方係りが、早速住民の間に慰安婦を募集した。すると、今まで英軍を相手にしていた女性が次々と応募し、あつという間に

い。いっぽう、強姦した男は、あとで女性に金を投げて与えても、強姦の事実は消えない。

よしりんは、次のようにソ連兵に強姦された女性が自決するシーンを描いて後、「日本の女は凄いい！ わしはこのような日本の女を誇りに思う」

「新ゴー宣」第24章と言う。



「新ゴーマニズム宣言第24章」より

これでは、強姦された女性は泣き寝入りせよ、と言うに等しい。この箇所をいろんな人に批判されてからは、一応表向き「レイプは最低」(「新ゴー宣」第30章)と言い繕うように変わったが、陰では

「そこら中の女、犯して妊娠させて……逃げたいわ」(「新ゴー宣」第29章、欄外)などと書いている。

ゴーマンかまして
かめへんやろか？

たとえば、「犯したい」が「たわむれ」の言葉やっ
たとしても、心にぜんぜんあれへんことは書か
れへんもんや。ゴーカン問題にドンカンなよし
りんは、そのうち「ゴーカンニズム」宣言と呼ば
れるかもしれへんぞ。もっと、女性の立場にピン
ンになりなはれ！

11 万国の漫奴隷、団結せよ！

「おーっ、よしりん。あんさん、ついに目覚めるときがやってきたんやねー。私や嬉しいっ！」。よしりんが「みなさん：わしは漫奴隷なのです」と「新ゴー宣」第42章の冒頭で告白しているのを本屋で読んだとき、私は感激で、つい泣いてしまった：というのはウソ！

家でつづきを読んで驚いた。これまで見た新旧「ゴー宣」の絵の中で最悪、サイテーだ。理屈で精一杯、読者へのサービス精神は枯渇し、ただ暗ーいだけの絵じゃないか(下)。面白くも何ともない！人を楽しませないで、何が漫画か！「わしは漫画か(家)」などと、ふざけたごまかしは許さんぞ！



「新ゴーマニズム宣言第42章」より

昔、よしりんは、自分自身を奴隷状態に順応して進化(退化?)した人間ならぬ「漫間」^{まんかん}として描いてみせたことがある(次頁)。これなどはまだ笑わせたぞ。とても右と同一人物が描いた絵とは思えないほどだ。こんなの見ると、「たしかに、漫画家

12 ソープ嬢や娼妓の「ほめ殺し」はダメ

前々章の「南海のあけぼの」に書かれていた重要なことは、一日にこなす男性の数が、通常の「売春宿」などと違って、ケタ違いに多いことだ。当時、日本国内にあった公娼制度のもとでは、女性の平均的な接客数は、「特飲街営業統計」によると、一日三・五人、性交回数四・八回とある。ところが慰安所の場合、平均すれば、その六・七倍の人数をこなさなといけなかった、と考えられる。

慣れるにしたがって、男たちを早く終わらせる技術が女性たちに備わってきたとしても、肉体的限界を超える場合が多かった。そのため、多くの女性が、肉体的・精神的な障害をおわされ、今も



彼女たちは苦しみ続けている(吉見・林編「共同研究・従軍慰安婦」大月書店、参照)。

慰安所がどうしてこんなに過酷だったかという理由を考えると、もういちど、彼女たちを縛っていた拘束力の強さを見ないといけない。よしりんは、前頁のようにソープ女性や公娼と慰安婦を同じものと考えている。

あるいは、次のように女性たちをプロと讀める。たしかにソープの女性是通过いでやってきて、一見自由に見える。だが、女性がソープブランドの外で、暴力団などに逃げないように管理されて、毎

日ソープブランドに送り込まれていたり、やくざな男がヒモになって彼女たちを私生活の場でつなぎ止めていたりする。ソープが閉店になる頃には、ヒモたちの車が出口で待ち受けている。

なかには、まったくの自由意思で働いている女性もいると思うが、こうした強制力が働いていない女性はいない。しかも、偏見と差別の強い社会の中で、画のようにプロとして胸を張って生きて行ける女性が多くいるとは思えない。漫奴隷のよしりんは、プロの漫画家としてやってきたことを、誰よりも誇りに思っている。そこがソープの女性



「新ゴーマニズム宣言第30章」より

と大きく違う。彼女たちは、できれば他の仕事に就きたいと思っている人も多はずだ。ところが、女性の仕事の賃金は一般的に低い。だから仕方なく水商売に入るケースだって多い。これを単純に「プロの女性」とだけ呼ぶことは、彼

(別紙)

採 録 状 況 (元)

六〇頁

カット34

(上段三カット)

カット35

(下段一カット)

13 レイプと慰安所のあいだ柄

よしりんは、慰安所となりたちを、極限状態で軍が犯すレイプを防止するためだったとして、次のように説明する。



「新ゴーマニズム宣言第26章」より



「新ゴーマニズム宣言第26章」より

この説明が、必ずしも間違っているとは思わない。むしろ、強姦防止が慰安所を作る動機だったことは、あらゆる資料が証明するところだ。ならば逆に聞くが、レイプと慰安所は地続きではなかったのかい？

慰安所の効用について、よしりんは、

飲んで踊り、のちに好きなもの同士が二階の寝室へあがって行くという仕組みで、日本のように酒も飲まずにそのものずばりの売淫行為を軍の施設として認めているのは他に類を見ない。

「からゆきさん」と呼ばれ、明治・大正期に海外へ行った女性たちの目に、日本男性がどのように映ったか紹介しておこう。

日本の男より西洋人の男のほうがよっぽどおなごにやさしかばい。西洋人の男はわたしがすかんということはむりにやせんもん(森崎和江「からゆきさん」朝日新聞社)。

日本人はな……客の中で一番いやらしかった……乱暴で……思いやりというもんが、これっぱかしも無かったもん(山崎朋子「サンダカン八番娼館」筑摩書房)。

公娼制度のもとで、女性をお金でレイプするのことに慣れ親しんできた日本男性の強引き、女性に對する思いやりの無さとは、このようなものだっ

た。

レイプと慰安所が繋がっていたことは、別の角度からも証明できる。フィリピンでは、銃を突き付けられて連行され、長期にわたってレイプされたケースが多く報告されていて(「フィリピン人従軍慰安婦」明石書店、彼女たちが、朝鮮などから連れてこられた「慰安婦」と同じ慰安所に閉じこめられ、強姦されつづけたことが報告されている。よしりんは、



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

14 慰安所を作ったのはダーレダ!!

ここで、元「慰安婦」の人たちが、漫奴隷と較べてどうだったか、もういちど検討してみよう。



「新ゴーマニズム宣言第30章」より

このようによしりんは、「新ゴーマニズム宣言」第30章で、軍の慰安係長・山田清吉が書いた『武漢兵站』（一九七八年）をとりあげた。

これだけ読むと、日本軍は、女性たちをあくだい売春業者から奴隷解放したことになる。

だが、このわずか三コマの中に、なんと重大な歪曲が三つもあつたぞ。よしりん！ チョット多過ぎやしないかい？

まず冒頭の「漢口に入城した売春業者は……」の所だが、この直前に「作戦軍にしたがつて」の九文字が省略されている。

この「作戦軍にしたがつて」を、もし「作戦軍の命令にしたがつて」ととると、慰安所を設置し

た主語は作戦軍となり、「慰安婦」問題の責任は軍、つまり国になる。だが、もし「作戦軍のあとに付いてきて」と、単純に解釈するならば、責任の主は民間業者になる。

つまり、民間業者は、軍の命令を受けて漢口にやってきたのか、勝手にやってきたのか、という大問題がある。

もちろん、よしりんは「勝手に派」だ。ここから、「ソープランドと慰安所は同じ」(「新ゴー宣」第30章)というよしりんの主張もでてくる。

よしりんの漫画の最近の特徴は、このように、最も肝心な点を省略する効果を利用することだ。すると、絵が強烈なだけに、切り取られた物事の一面面だけが歪んだイメージとなって読者の頭に定着する。

そして、次のように、慰安所を作ったのは「民間の業者だ」と、一方的に言うのだ。



「新ゴーマニズム宣言第26章」より

では、よしりんが引用していた「武漢兵站」には、肝心のこの点について、どう書かれているのだろうか？

業者にもいろいろあつて……リユックサック一つ背負って大陸に渡り、荒稼ぎをねらった一発屋もあつた。それと、軍命令によつて仕方なく支店を出していた松島、福原あたりの老舗があつて、この両者の間とはかく折り合いがわるく、内地人同士でもしのぎを削るありさまであつた(七九頁)。

つまり民間業者には、軍の命令で漢口にやって

書」と呼ばないで何と言えいいのか? よしりん! 『武漢兵站』に書かれているこんな重要な箇所をなぜ読者から隠すのか? 「読者は依らしむべし。知らしむべからず」とでも考えているのか?



「新ゴーマニズム宣言第39章」より

よしりんが右のように描いたのは、読者が動けば、自分で資料に当たって調べるなどして、漫画

の嘘がバレるからなのか?

ゴーマンがまして
かめへんやろか?

わては、あんさんが『武漢兵站』を全部読んで、わざと重要な箇所を隠したとは、必ずしも思っていない。締切りに追われて資料を読む時間もないよしりんは、誰かから、その箇所だけを示されて、「今週の漫画のネタはこれでできた」と喜んだだけかも知れへん。ノルマに縛られて十分な調査や検討がでけへん漫奴隷の辛さはよくわかる。せやけど、漫奴隷が読者を無知の奴隷にするというのは、やっぱり恐ろしいことやで!

16 競争が奴隷の姿を隠す

よしりんはまた、長沢健一という軍医がまとめた『漢口慰安所』という本もマンガで紹介してい



●戦国の首脳ソワルのM10巻、日本の戦国作家連は、日本によって京城から京城へと改称された。
「新ゴーマニズム宣言第30巻」より

る。

三万円もの貯金をした慶子と源氏名で呼ばれた朝鮮女性がいたという。

ところが長沢軍医は、この表彰制度について、次のように解説している。

表彰することの本音は、女たちの虚栄心をくすぐり、競争心をあおり、自分で花を焚かせて(客があつたことにして、揚げ代を女性が払うこと)まで売り上げを増やそうという楼主の魂胆であるともいえる……客が女を選ぶため、慰安所の入り口の壁に掲げられる慰安婦の肖像写真も、お職(ナンバーワン)を最右翼に、順次売り上げ順に並べられる。そして月ごとに順位が入れかわる。

これも上位の女の虚栄心を満足させるだろうが、下位になった女にとっては、自分は売れない女だと表示されているようなもので、よりいっそう客のつきは悪くなる。朋輩(同僚)には恥ずかしく、楼主には嫌味をいわれ、やりきれない思いをする。当然、彼女らは、何とか売り上げを伸ばして上位に上がろうと四苦八苦し、その努力の結果、下位の女が浮かび上がっても、常に下位の女がいるのだから、新たに下位になった女が上がるとし、上位の女はさがるまいとし、競争は激しくなる。こうして自然に売り上げは伸び、楼主の笑いは止まらないという仕組みである(括弧内は引用者)。

またよしりんは、一時にたくさん軍人が押し寄せたので、女性たちの陰部が「摩擦のため充血し、腫れていた」ことを知った軍医が(右の著者ではない)、三日間の休業を命じたところ……



「新ゴーマニズム宣言第30章」より

という話を紹介し、「これのどこがレイプで性奴隷なんだろう?」と疑問を投げかける。

だが、長沢軍医は、右を「平常は暇な揚子慰安所」の話として紹介し、続いて次のように書いているのをよしりんは省略している。

女たちは大変であつたろうが、このような状態が長く続くものでもなく、台風のように間もなく去ってしまうことを、女たちは知っていて、

17 やさしく殺せば、殺人でなくなる？

昨年(一九九六年)の二月二日、「新しい歴史教科書をつくる会」が発足した時の記者会見のこと、よしりんは、居並ぶ記者たちの前で、わざわざパネルまで用意して、「慰安婦」問題の資料解説をやった。

紹介した資料の核心は、なんといっても、日本の「慰安婦」問題への関与を決定づけた、吉見義明教授が発見した有名な資料で、通称「副官通牒」と呼ばれるもの。よしりんは、これを、女性たちを強制連行させないよう軍が「よい関与」をした証拠と、自信たっぷりに解説した。



「新ゴーマニズム宣言第33巻」より



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

そして、「実際には『よい関与』というものがあるのではないか？」と吉見氏を批判して、次のように言う(画面右が吉見氏)。

主たる責任は軍にあったというほかはないです。(中略)

慰安所用の建物の接収や改造は軍が行いました。利用規則や料金も軍が決めました。慰安所の経営についても軍は深く介入しています。



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

なんともすさまじいムチャを言う漫画家先生になったものだ。まず、「関与」という言葉。フツ、「犯罪に関与した」といえば、すくなくとも共犯関係にあったことを意味する。たとえば次の新聞記事は、一九八九年に東京で起こった女子高生

コンクリート詰め殺人事件を報じたもの。

女高生 少年、計7人が関与



古田 順子さん

少年2人と被疑者は三十一日、殺害に関与、ほかに、人の少年遺体の指紋の照合から、殺されたのは埼玉県三郷市高州一丁目の県立八潮南高等学校三年生、古田順子さん(当時一七)と断定した。また、犯行現場となった足立区鶴場の会社員宅を現場検証するともに、殺人・死体遺棄にコンクリート詰めにして埋め立て地に捨てた事件で、警視庁に現場の家に住む兄弟ら三人が

七人の少年が「いい関与」をして、被害女性を

逃がしてやったとか、強姦を体を張って止めさせた、などとは書いていない。ここで言う「関与」とは、「強姦、殺害、監禁などの犯罪にかかわった」

(可能性がある)という意味。これが「関与」という言葉のフツの使い方。「少年たちはいい関与もした」などとは言わない。むしろ「強姦や殺人などしてはイーカンヨ」と言うくらいだ。

ただ、むりやりにでも「いい関与」の言葉を使おうとするなら、「輪姦するとき、男同士お互いに争わないようにジャンケンした」とか、「生き埋めにするのは余りに残酷なので、殺してからコンクリートに埋めた」などというヤツが該当するかもしれない。つまり、犯罪の手口をやわらげるやり方だ。

たしかに、日本軍が慰安所に作った規則などは、サックを使えとか、酒を飲んで暴力を振るうなど、強姦を「優しく」行うための関与だ。この「いい関与」にどれだけの意味があるだろう。やさしく殺せば、殺人事件でなくなるとでもいうのか？

よしりんは、一九四四年二月のマニラ地区兵站が、慰安婦の衛生管理に注意すべきだ、としている報告書を紹介して、



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

と主張する。だが、女性たちが病気になるれば兵隊たちに伝染する。死ねば慰安所も成り立たなくなる。それが、軍にとって何よりも恐いのだ。なにも女性たちのことを考えているわけでない。軍は、業者が軍の維持・管理に無関心で、自分の私利私欲のためにそれらを阻害することを批判しているのだ。

軍の規制によると、「軍人および軍属の歓楽を目的として接客婦を置く」(「在マニラ認可飲食店、慰安所規則」としていた。つまり、「接客婦(慰安婦)は、軍人・軍属の快楽のための手段」とする方針

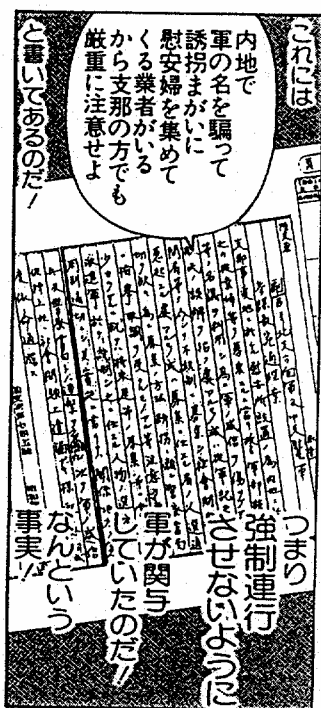
18 やはり存在していた強制連行の資料

ところで、前章で少し触れた「副官通牒」は、

よしりんが現物を下のように漫画で紹介している。
これによると、内地から日本人女性を連れてくる
ときでさえ、「募集ノ方法、誘拐ニ類シ、警察当局
ニ檢舉・取調ヲ受クル者」があつたと伝えている。
強制連行の資料はあつたのだ。

しかも、「故^こラニ軍部諒解等ノ名儀ヲ利用」する
業者があると書いて注意している。「故」は「わざ
と」の意味。決して「偽って」でない。つまり、
業者の背後に軍部があることを「ことさら言うな」
と、公文書が記しているのだ。強制連行だけでな
く、その責任者もここにハッキリ書かれている。
だが、よしりんは、これを吹き出しの中に書か

れているように解釈する。



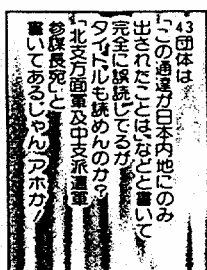
「新ゴーマニズム宣言第32章」より

チョット待て！ よしりん！ どこに「軍の名
を騙^{かた}って(かたる)嘘をついて」と資料に書いてあ
る？ 「ウソをついて」などと嘘を描くのじゃな
い！ エーイまぎらわしいつ。自分の作品に嘘を
描くくらいならペンを折れ！

ただ、この通牒の中を読むと、強制連行をしないうように色々注意していることだけは事実だ。とするならば逆に、慰安所が作られるのが一九三二年、それからこの通牒が出される一九三八年までの六年間は、すくなくとも軍を背後にした強制連行があったことを認めざるをえまい?・・・返事がないので次に行こう。

このよしりんの解釈に対抗して、福岡の四三団体が書面で異議を申し立てた(「SAPPO」一九九六年一月二二日)。それによると、強制連行を取り締まる通牒は、問題になっている植民地などに出されていない、つまり内地は別としても、植民地などでは強制連行が放置された、と批判した。

よしりんは、これに対して次のように反論した。



「新ゴーマニズム宣言 第32章」より

たしかに、宛先は「北支方面軍及中支派遣軍参謀長」となっている。しかし、これは日本軍が中国現地で女性を徴集する際の注意ではないのだ。それは、中をよく読めばすぐわかる。

四行目に、「内地ニ於テ之ガ従業婦等ヲ募集スルニ当リ」とある。これは、外地に派遣されている部隊が、故郷(内地)から「慰安婦」を連れてくる場合があったことを指している。吉見義明『従軍慰安婦資料集』には、これと同じ例がたくさん収められている。

在漢口香川県天野部隊に於ては、軍慰安所開設のため婦女五十名を募集し居る趣をもって右引率、渡支(中国への渡航)許可方、同(香川)県庁に願出(「漢口陸軍天谷部隊慰安所婦女渡支の件」、括弧内は引用者)。

従業婦女の数は概ね千名内外にして、軍において統制せるもの約八五〇名、各部隊郷土より呼び寄せたるもの約一五〇名と推定す(「戦時旬報

19 「慰安婦」は「悲惨じゃなかった」?

よしりんが投げかけた疑問で、唯一、説得力があるものに、ビルマのミツチナで米軍が行った尋問報告書がある(「新ゴーマニズム宣言」第37章)。そこには、

慰安婦たちは、通常、個室のある二階建ての大規模家屋(普通は学校の校舎)に宿泊していた。それぞれ、慰安婦は、そこで寝起きし、業を営んだ。彼女たちは、日本軍から一定の食料を配給されていたので、ミツチナでは「慰安所の楼主」から、彼が調達した食料を買っていたとある。ここまでの記述は、あまり問題ない。ただ、よしりんが、右の「大規模家屋」の後に書かれている括弧の中を読み飛ばして朝生テレビ(一九九七年二月一日)で紹介、「そんなに悪い建物じゃ

ない」と放言して西野瑠美子氏から「それ以上のことを読みとれませんか?」と、たしなめられた程度だ。括弧の中には「学校の校舎」と書かれていて、これが住むのに快適で優雅な建物とはとても思えない。

またよしりんは、右のやりとりの中で、



「新ゴーマニズム宣言」第3巻特別編より

と呼ぶのだ。

ついでに、この尋問報告書に「慰安婦」と兵隊の結婚の話が紹介されているので、これにも少し触れておこう。よしりんは、これをつかまえて、



「新ゴーマニズム宣言」
第3巻特別編より

と描く。だが、ビルマ現地で結婚などできるはずがない。これは兵士も「慰安婦」もそうだ。おそらく婚約のことだろう。では、婚約できたら、彼女たちは性奴隷でないのか?

江戸時代から、遊廓から男が女性を身請けして結婚した例は腐るほどある。それだから、彼女たちが奴隷でなかったなんていうことにはならない。まして異境に遠く離れた男女が、孤独と絶望感に襲われて、疑似恋愛に陥ることだってたくさんあ

った。兵士はもちろん女性たちだって、絶望の中ではそれが唯一の支えになることだってありえた。結婚できたら奴隷でないというのだったら、日本国内で書かれた最古の奴隷の資料である次をどう読めばよいのか?

もし良女、奴(男の奴隷—引用者)に嫁ぎて生めらむ所の子は、その父につけよ(『日本書紀』)。太古の昔から、奴隷だって結婚してたのだ。漫奴隷も賞金奴隷もミーンナ子どもを作って、次の奴隷を作らなければ御主人様は困るのだ。

——
ゴーマンがまして
かめへんやろか?

ものごとを、ごつつう単純に描けば、「そりやマンガや」と人は笑う。よしりんは、そんなしょもない「マンガ」を描く人やなかった。せやけど、ここまであんさんが、そのマンガ家になり果てていたとは、今しみじみわかった。

20 「慰安婦」問題は「反日家の発明」?

私たちが「慰安婦」問題を取り上げると、よしりんは、



「新ゴーマニズム宣言第31章」より

と、「じーさんたちこそ被害者」と反論する。たしかに、慰安所は強姦所でもある。だからといって、

「じっちゃん」たちが「強姦するぞ!」と勇んで出かけたなんて、誰も言っていない。そこには、さまざまな人間的な対応もあったはずだ。

また、公娼制に慣れていた、お金さえ払えば罪の意識など感じないでいられた当時の男性にとつて、そこが女性にとつて強姦所だったということ、今改めて考えるのは辛いことだ。

だが、今問われているのは、そのことなのだ。当時何とも思わなかったことが、後になって相手を傷つけていたと気付くというのは、よくあるではないか。幼な友達から、「あの時、こんなこと言われた」などと、今は覚えてもないことをあとで告発された体験を持っている人は多いだろう。

に軍事独裁政権を経済的に支える役割を果たしてきた。その結果、アジアの戦争被害者たちは、軍事独裁政権のもとで発言を封じられてきたのだ。

それが変わったのが、冷戦の崩壊にともなうアジアの民主化の開始と、経済力の高揚だ。それぞれの国内で旧日本軍による被害を広く訴える集会やデモが開かれるようになり、日本へ渡航しようにも、パスポートさえ自由にとれなかった状況は、とくに韓国とフィリピンではなくなった。これが、今裁判が日本で行われるようになった直接の原因だ。各国政府も、日本に文句を言っても、以前のように札幌で頬をひっぱたかれて黙らされるような弱い経済力ではなくなっていた。

こうして、アジアの民主化と経済力の増大が基礎になって、独裁政権下でアジア人女性を日本人男性が戦後も買いあさり続けたキーセン観光、買春ツアーなどが問題となっていた。そして、アジア人女性を差別する日本人の意識の背後には、

「慰安婦」問題以来の体質が日本社会に温存されてきたからではないか、という批判と疑問がアジアのフェミニズム運動に広く深く浸透したのだ。

「慰安婦」問題の背景には、こうしたアジアの大きな地殻変動が横たわっている(尹貞玉ほか「朝鮮人女性がみた「慰安婦問題」(三)新書」。

「どうして五〇年も経って今ごろ？」という疑問が、ときどき聞かれるが、五〇年経つてようやく、アジアの女性たちは声を挙げる条件を手に入れたのだ。よしりんは、



『新ゴーマニズム宣言』第3巻特別編より

21 軍人への追悼とは何か？

「慰安婦」問題を取り上げることが、じつちや
んたちの世代を辱めることだと、よしりんは言う。



「新ゴーマニズム宣言第31章」より

だが、この感情的な反発は、まったく新鮮味がない。日本遺族会が、ずっと前から、「侵略戦争と呼ぶことは、英霊を犬死にすることだ」と言ってきた二番煎じだ。よしりんが、今は、自分のオリジナリティーで漫画を描いていないことがこれではつきりする。

正直言つて、よしりんが「慰安婦」問題を取り上げたとき、もつと深いふかあーい、深遠な考えがあつてのことかと恐れたものだ。しかし、自民党右派の票田になつてきた日本遺族会の提灯持ちになつて、薄っぺらな考えの宣伝マンガ家になつてしまったことを知つて、体から力が抜けた。残つたのはふかあーい感だけだ。

おわりに——小林よしのりは復活できるか

よしりんが「新ゴー宣」に描いた「慰安婦」問題を追いかけてここまで来た。今は嫌悪感にとらわれている。私は、よしりんが大好きで、信頼も期待もしていた。だが、この本の原稿を書き進める中で、よしりんの漫画をつぶさに検討し、資料と照合するなどするにしたがって、ある時はよしりんが重大な箇所を隠したり、時には嘘までついていることを発見して、嫌な気分に襲われた。

「何かの間違いだろう」「一人で描いているわけじゃないから、周りのスタッフや悪知恵を入れるヤツもいるのだろう」と、あえて思うようにしてきた。だが、検討が進むにつれて、それらがあまりにたびたびだということに驚き、ついに、あき

れ返った。よしりんは、救い様のないところに行ってしまった。「漫画家としてのよしりんは死んだ!」という思いを、今は禁じ得ない。

何を隠そう、私は、今年(一九九七年)の二月一日、よしりんたち「新しい歴史教科書をつくる会」の面々と「朝まで生テレビ」で対決し、あんたも次のように描いた一人だ(左端が著者)。



「新ゴーマニズム宣言第37章」より

このテレビ番組の様子を、あんたは「新ゴー宣」第37章で、かなり強引に、歪めて描いた。テレビを観た人ならば、その一方的な描き方にびっくりしたことだろう。また、番組終了後に、テレビ局の地下食堂で開かれた打ち上げ会の様子をあんたは描いた。そこには、梶村太一郎氏が、「おい小林よ! このことを漫画で描けよな!」と言ったシーンが載せられている。私は、梶村氏のすぐ近くにいたから、彼がたしかにそう言ったことを覚えている。

すると、あんたたちのうちの誰かが、「どうしてこの問題で、そこまでの努力ができるのか?」という意味の質問を梶村氏に投げかけた。梶村氏は、それに対して、「オレと関係ない前の世代がやったことだから、と考えるとしたら大間違いだぞ!」と答えた。

ところが、第37章を読んでびっくりした。梶村氏が、



「新ゴーマニズム宣言第37章」より

と言ったと描かれているのだ。「……と考えるとしたら大間違いだぞ!」の箇所が抜けている。これでは、もはや「重要箇所の省略」などでなく、全くの嘘、デマというものだ(しかも顔は醜く歪んでひどい中傷だ)。これが二、三〇万の読者に配られたのだから、重大な名誉毀損だ。

本書の第19章で紹介した西野さんの言葉の歪曲も合わせ、これら私の身近で起こったよしりんのデマゴーグぶりは、私があんたを信じていた分、

戸惑いとなった。何かの間違いと考えたかった。
 「梶村氏の言葉の最後の部分を、よしりんは聞き取りにくかったかも知れない」とも考えた。ならばよしりんは、事前に梶村氏に電話で確認してから描いてもよかったはずだ。

HIV問題で川田龍平君に仕掛けたやり方(本書第2章)といい、最近のやり方は目に余る。柳美里さんのサイン会の中止についても、サイン会は言論でなく、催し物だから、言論弾圧でない、と詭弁をふるう。

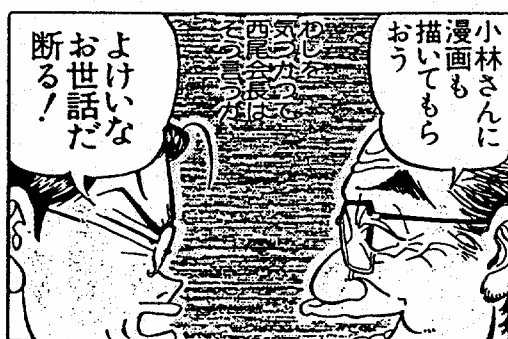
言論人としての柳氏への攻撃が意図されている行為ならば、何だって言論弾圧だ。もし、ゴルフ場で彼女にテロが加えられたら、「ゴルフ弾圧だ」とでも言うつもりかい？ 彼女が乗っている飛行機が爆破されたら、「飛行機は言論でない」とやるのかい？ 子どもでも分かるデタラメを言って、あんたのマンガを読んできた子どもたちに恥ずかしくないか？



「新ゴーマニズム宣言第40章」より

私は、こうした最近のよしりんの行状と、今回改めて「慰安婦」問題についてよしりんが描いたことを考え合わせてみると、あんたの漫画は、もう「ピラのイラストそっくりになってきている」(柳美里、本書第1章参照)と批判されたレベルを通り越し、今やデマに変質していると断定せざるを得ない。

る。「新しい教科書」(本当はフルーイ教科書の焼き直し?)によしりんの漫画を載せることについて、



「新ゴーマニズム宣言第47章」より

と、断っている。

同章ではおまけに、西部邁氏が、よしりんたちを軽視する某評論家を高く評価することに対して、嫉妬からか、よしりんは西部批判までしている。

これは、「おれを敵に回してもいいのか!」という脅しで、大月隆寛氏に、使った手口とおんなじだ。

大月氏が「新しい歴史教科書をつくる会」に加わったのはカナモリ秘書の口説きによることをバラした(「新ゴーマニズム宣言」第33章)ために、その後、大月氏は下心でやっているのではないことを証明するため、見るのも気の毒なくらい、よしりんにおべっかを使い始めた(「正論」一九九七年四、六、八月号の大月氏の文章を見よ)。

ダイジョーブ! 保守の陣営は、よしりんを敵に回したら、若者への影響力が恐いから取り込みをはかったのだ。元「慰安婦」の人たちとそれを支援する運動が健在である限り、あんたを保守陣営は捨てたりしないよ! 安心しなさい!

ただし、よしりんの性分からして、次に行く所は右翼か日本遺族会くらいしかないかも知れない。そうならないためにも、愛国心について、最後に触れておきたい。

よしりんは、次のように描いた。



「新ゴーマニズム宣言」
第35章より

るとしたら、そうした周囲の警戒を踏みにじってでも海外派兵を行おうとする、かつての軍部独裁のような国家の側面だろう。そんな薄汚れた、悪い国家の面を復活させてどうしようというのか？

「国家を復活させる」というのなら、今の日本
の国は死んでいるか滅びているかだ。だが、日本
の国家の中枢には官僚がデンと座って、政治家も
国民も牛耳り、彼らの力を抑えるべく行政改革が
叫ばれるくらいだ。経済をとってみても、国際競
争力の強さを背景に、「驕る日本人」(陸倍春)が海
外でゴーマン不遜な振る舞いをしている。自衛隊
だってアジア最強・最新の装備を誇り、周辺諸国
から不安がられている。

第二次大戦時の日本の所業を批判する海外から
の声は、そうした今の日本の大国化への警戒とか
らんでいる。もし日本の国家に欠けている所があ

現代の愛国心は、自国の人々への敬愛が、同時
に他国の人々の敬愛へとつながるような性格を根
底にもつものでなければならぬだろう。国境そ
のものが消え去るかもしれないような時代を前に
して、偏狹で独善的、エゴイスティックな愛国心
は、「悪党の最後の隠れ蓑」(サミュエル・ジョンソ
ン)だ。

今日、元「慰安婦」の人たちを支えている若い
日本人たちが、いかに日本社会を愛しているか、
あるいは愛したいと願っているか、直接に会って
尋ねてみればよい。彼らは「反日活動家」とは誰
のことか？ と、いぶかるだろう。

(別紙)

対
比
表
(一)

カ
ッ
ト
4



「新ゴーマニズム宣言スペシャル・
脱正義論」18頁より

原
カ
ッ
ト
(イ)





(別紙)

対 比 表 (三)

カ
ッ
ト
37



日本軍はそれまで奴隷状態だった慰安婦に人権を与える方向に管理している



「新ゴーマニズム宣言第30巻」より

原
カ
ッ
ト
(ハ)



「武漢兵站」という慰安係長の手記を読むと慰安所の実態が見えてくる

漢口に入城した売春業者は朝鮮人の女たちを強制的にまとく奴隷状態に陥れ収奪したので

漢口兵站の監督下に置き内地人の女同様借金制度に切り換えた

前借金は一平均6ヶ月で返済されたので1ヶ月450円稼げるようにして一年半くらいで借金を返し

それ以上働けば貯金もできて内地へ帰れるよう指導した

日本軍はそれまで奴隷状態だった慰安婦に人権を与える方向に管理している

(別紙)

対 比 表
(四)

カ
ッ
ト
53



「新ゴーマニズム宣言第37章」より

原
カ
ッ
ト
(二)



(別紙)

対 比 表 (五)

カット 54



「新ゴーマニズム宣言第37章」より

原カット (六)

